



赤十字・赤新月 運動の活動状況

ウクライナにおける
武力紛争とその影響を
受けている国々

2022年2月～2023年6月



1,160万人
に物資など
基本的支援を提供



1,060万人
に安全な水を提供



2億9,600万
スイスフラン
の現金給付を実施



190万人
に居住支援を提供

赤十字・赤新月運動の活動状況は、国際的武力紛争の影響を受けた人々を支援する国際赤十字・赤新月運動の総合的な実績と活動を示している。
本ページの主な数値は、この運動のパートナーによる世界規模の支援を合わせたものである。

ウクライナ国内の状況

ロシアとウクライナ間の18ヶ月に及び武力紛争の激化により、いまなお多くの命が奪われ、広範な人道危機が拡大し続けている。

2023年6月に起こったカホフカダムが決壊は、この紛争が人々や家畜、農業、自然環境、そして極めて重要なインフラに甚大な影響を与えていることを示す直近の事例である。さらに、ドニプロ川の両岸にあるコミュニティは、洪水により流された地雷や不発弾という新たなリスクに直面している。

このリスクは、新学年を控えた何千人もの児童や生徒たちに及んでいる。ウクライナ全土で3,000校以上の学校が損壊または破壊され、その結果、500万人を超える子どもたちが教育を受けられない状態となっている¹。冬が近づくなか、多くの家庭が電気や水道水、暖房がない生活の危機に瀕している。

赤十字・赤新月運動は、ウクライナ国内で複合化する人道支援ニーズに対応し、戦略および活動レベルでの連携を強化するために現地で活動している。

食料、衣類、衛生用品、清潔な水、現金・引換券給付、避難支援、法的サービスや保護サービス、離散家族の再会・連絡回復支援などを一丸となって提供している。ウクライナ赤十字社チームは、最も弱い立場にある人々の救命救助や彼らに保護、希望を与えるために大きな危険を頻繁に冒しながらも、日々現場で活動している。赤十字国際委員会（ICRC）は、前線のどちら側でも必要な活動を提供している。国際赤十字・赤新月社連盟は、ウクライナ赤十字社およびウクライナ国内で活動する加盟社に対する支援を引き続き強化する。

1. <https://saveschools.in.ua/en/>



7,300人
のボランティア
が参加



物資など基本的支援

200万人

国内避難民の避難所への支援を通じて人々の生活環境が改善

180万人

2023年上半年*に物資など基本的支援を提供



生計支援

2,420人

食料生産に対する生計支援を提供



保護活動

360,000人

安全な経路を通じて避難

18,000人

武器汚染に関する啓発セッションに参加

2,700件

捕虜とその家族の間の個人メッセージを伝達



移動・避難支援

355,000人

移動や避難支援を提供



居住支援

150万人

適切な暖房を利用できるように支援

37万戸

住宅を再建



給水・衛生及び衛生促進（WASH）

1,060万人

安全な水へのアクセスを改善

210万人

衛生用品を支援



保健医療

657,000人

改善または復旧した医療サービスを利用

480,000人

精神保健の支援を提供

348,000人

応急手当の訓練を提供

397箇所

医療施設に医薬品、医療機器、物資および機器の支援を提供

186箇所

人道支援サービス拠点において国内避難民を支援

*ウクライナ赤十字社報告システムより入手した救援活動のデータ（2023年1月から6月）を示す。ウクライナ赤十字社、国際赤十字・赤新月社連盟（連盟）およびICRCは、ウクライナ国内に常駐している、または対応活動に資金援助・物資援助を行っている赤十字・赤新月運動のパートナーに支えられている。IFRCの緊急救援アピールに貢献した各国赤十字社のリストは以下を参照：www.ifrc.org/docs/appeals/Active/MGR65002.pdf

ウクライナおよびヨーロッパ各国における現金給付

ウクライナでは、国内避難民の72%が今も政府からの社会的支援や人道支援団体からの現金給付に依存している²。ウクライナ赤十字社は、ICRCおよび赤十字ネットワークとともに、国内避難民やその他の支援が必要なコミュニティにいる人々を支援するために必要不可欠な現金を給付している。

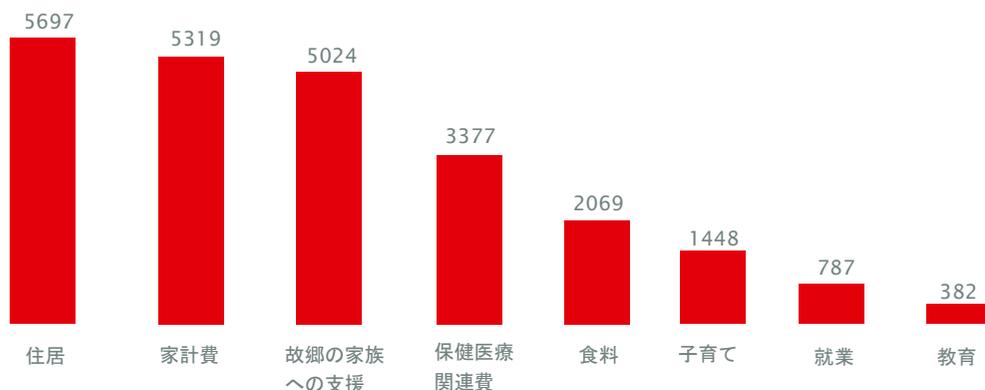
赤十字・赤新月運動は、2億9,600万スイスフランを用いて200万人以上を支援する過去最大規模の現金給付事業を開始した。連盟は、8カ国と42の言語で、現金給付やその他の支援を提供するための自己登録型の現金給付アプリを試験的に導入した。このプログラムは、一部の国々で紛争によって間接的に影響を受けたホストコミュニティも支援している。

連盟が調査したウクライナ国外の受給者の40%は、赤十字社による現金給付がここ数ヶ月の主な収入源となっていると回答した。この支援によって、特に支援が必要な家族の家賃や光熱費、食料、衣類、医療費、教育費などを支援し、彼らが借金に陥ることが回避された。

ロシア・ウクライナ国際的武力紛争の影響を受けた人々を支援することは、依然として赤十字・赤新月運動の最優先事項であり、とくに人道支援活動に非常に多くの資源と努力を注いでいる。しかし、今後数年間で資金調達の状況はますます厳しくなると予想している。コミュニティが必要としているサービスレベルを維持するために、ドナーによる支援が不可欠である。

今、何を最も必要としていますか？

ウクライナからの避難民の回答



2. IOM.

ウクライナ



2億1,200万
スイスフラン
の現金給付を実施



269万人
多目的
現金給付支援を提供

グローバル



2億9,600万
スイスフラン
の現金給付を実施



343万人
多目的
現金給付支援を提供

一児の母であるキウ出身のオレーナさんはポーランドの赤十字社から現金給付カードを受け取った。



データソース：IFRCグローバルニーズ評価調査（2023年5月～8月）。ウクライナを離れた23,800人からの回答に基づく。

ヨーロッパ各国の状況

ベラルーシ  **236人** のボランティア

 **6,400人** 精神保健の支援を提供

 **7,700人** 物資など基本的支援を提供

 **5,500人** 多目的現金給付支援を提供

ハンガリー  **6,700人** のボランティア

 **176,000人** 物資など基本的支援を提供

 **69,000人** 衛生用品を支援

 **22,000人** 精神保健の支援を提供

ポーランド  **8,200人** のボランティア

 **120万人** 物資など基本的支援を提供

 **2,770万** スイスフラン 現金給付を実施

 **95,000人** 多目的現金給付支援を提供

スロバキア  **3,300人** のボランティア

 **306,000人** 物資など基本的支援を提供

 **28,000人** 公的手続きの支援を提供

 **29,000件** 保健医療の支援を提供

ブルガリア  **5,500人** のボランティア

 **215,000人** 物資など基本的支援を提供

 **70,000人** 公的手続きの支援を提供

 **330万** スイスフラン 現金給付を実施

 **53,000人** 多目的現金給付支援を提供

リトアニア  **10,000人** のボランティア

 **79,000人** 公的手続きの支援を提供

 **1,400人** 社会的統合活動を実現

 **270万** スイスフラン 現金給付を実施

 **30,000人** 多目的現金給付支援を提供

ルーマニア  **7,000人** のボランティア

 **2,260万** スイスフラン 現金給付を実施

 **22,000人** 人道支援サービス拠点で支援を提供

 **76,000人** 多目的現金給付支援を提供

チェコ  **1,400人** のボランティア

 **395,000人** 人道支援サービス拠点で支援を提供

 **331,000人** 精神保健の支援を提供

 **2,400人** 社会的統合活動を実現

モルドバ  **1,200人** のボランティア

 **138,000人** 物資など基本的支援を提供

 **15,000人** 精神保健の支援を提供

 **4,000人** 一時的集団避難所／宿泊施設の提供

ロシア  **20,000人** のボランティア

 **428,000人** 物資など基本的支援を提供

 **289,000人** 多目的現金給付支援を提供



周辺国の赤十字社は、以下少なくとも1つのパートナーより支援を受けている：国際赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際委員会、オーストリア赤十字社、デンマーク赤十字社、フィンランド赤十字社、フランス赤十字社、ドイツ赤十字社、イタリア赤十字社、ルクセンブルグ赤十字社、スペイン赤十字社、スイス赤十字社。
 その他多くの各国赤十字社が資金と物資の両面で対応を支援している。

グローバルな展望



620万人以上の人々が安全を求めてウクライナの国境を越え、大半は近隣諸国に滞在しているが、オーストラリア、カナダ、日本まで避難した人々もいる。

早期帰国という多くの人々の望みは薄れ、受入国での就職や研修に取り組んでいる。ヨーロッパや世界中の各国赤十字社は、新しい生活とホストコミュニティに溶け込もうと努力している家族を支援している。連盟は、継続的な現金・引換券給付、保健医療や精神保健の支援、そして人々が仕事を見つけ、新しい言語を学び、大人と子どものための補習授業を支援する活動など、膨大なニーズに応えるための支援を提供しているネットワークによって、58の各国赤十字社の連携を支援してきた。

また、身内と連絡が取れなくなった苦痛に耐えながら、生活を立て直そうとしている人々も大勢いる。42の各国赤十字・赤新月社および18のICRC代表団から成るネットワークは、ICRCの中央追跡調査局の専門部署と協力し、6,100家族以上に対して、拘束され、あるいは行方不明になった親族の状況や所在に関する情報を提供した。

一方、ICRCは、武力紛争の両当事者が拘束している1,500人以上の捕虜との面会を許されている唯一の国際機関である。また、中立的な仲介者として何百人もの死亡した軍人の送還にもオブザーバーとして関わってきた。

赤十字・赤新月運動の力は、最前線を越えて、地球の反対側にいる人々を再びつなげる能力にある。どこであろうと、誰であろうと、どんなに困難な状況であろうと、この武力紛争の影響を受けている人々やコミュニティを必要な限り支援することを約束する。



給水・衛生及び 衛生促進 (WASH)

1,060万人 に提供

給水および衛生用品の支給の改善



現金給付

343万人 に提供

多目的現金給付を通じ、基本的ニーズへの対応支援、賃貸支援、保健医療、避難所に関する支援



保健医療

763,000人 に提供★

医薬品および医療機器、医療施設へのアクセスの支援



移動・避難支援

127万人 に提供

人道支援サービス拠点での支援、移動および避難誘導



物資など基本的支援

1,160万人 に提供★

基本的支援、国内避難民の避難所への支援、特別な配慮を必要とする人々のための施設の改修



保護活動

343,000人 に提供

チャイルド・フレンドリー・スペース、PGI（保護、ジェンダー及び包摂）に関する活動。6,100家族以上に身内の所在に関する情報を提供。



居住支援

190万人 に提供

住居／避難所改修の支援、一時的集団宿泊施設で過ごす人々への支援



129,000人

のボランティアが参加



564箇所

の人道支援サービス拠点



58カ国

の各国赤十字社が対応に従事



6,650箇所

の各国赤十字社の支部が対応

データソース：国際赤十字・赤新月社連盟全体指標追跡ツール（7月31日までに提出されたホスト各国赤十字・赤新月社のデータ）およびICRCの2023年第2四半期データ。

データは、その正確性と更新に責任を負う各国赤十字社またはその指定支援団体による自己申告。

*各国赤十字社からのデータ修正により、2023年1月の活動報告において発表された赤十字・赤新月運動の活動状況のデータを修正。